

市町村名		多良間村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-① 美化緑化推進事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ウ		
	観光振興課		事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖繩振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
担当部課名					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	<p>快適な観光地を形成するために、観光関連施設や周辺道路の美化・緑化を行う。</p> <p>【実施箇所】 ・観光関連施設及びアクセス道路(農村公園・ふるさと海浜公園・八重山遠見台・前泊地区東屋等・ミツ瀬公園・宮古市の森公園・村営GG場・テニスコート周辺・多目的広場)</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(a) 当初予算額	6,457	7,613	8,136	9,252	8,870
	(b) 予算現額	2,782	4,525	4,626	8,360	7,480	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 3,675	▲ 3,088	▲ 3,510	▲ 892	▲ 1,390	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	2,782	4,525	4,626	8,360	7,480	
	B. 執行済額	2,782	3,118	2,732	8,360	7,480	
	うち交付金充当額	2,225	2,494	2,185	6,688	5,984	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	68.9%	59.1%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明	当初の計画通りで、想定内の予算執行であった。1,390千円の減額は入札残である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	公園9カ所の美化・緑化を実施し、観光客等が気持ちよく利用出来るように取り組む。	目標	公園9カ所の(美化・緑化の)実施	公園9カ所の(美化・緑化の)実施	公園9カ所の(美化・緑化の)実施	公園9カ所の(美化・緑化の)実施	
		実績	公園9カ所の美化・緑化の実施	公園9カ所の美化・緑化の実施	公園9カ所の美化・緑化の実施	公園9カ所の美化・緑化の実施	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	・公園9カ所・観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を年6回実施し、年間を通して美しい景観を保つことが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		76%	80%	85%	
	【参考指標】 観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化の実施。農村公園、ふるさと海浜公園八重山遠見台、ミツ公園等9箇所	目標	()	(9カ所)	(9カ所)	(9カ所)	()
		実績		9カ所	9カ所	9カ所	
進捗状況説明	・昨年度より業務委託し、公園9カ所・観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を年6回実施し、年間を通して美しい景観を保つことが出来た。観光地としてふさわしい景観及び道路環境であるかの満足度調べにおいては、1月から3月迄の期間、空港、夢パティオたらま、地域振興拠点施設、港の4カ所で満足度調査を実施した結果、満足した人が85%となり、目標を達成した。						

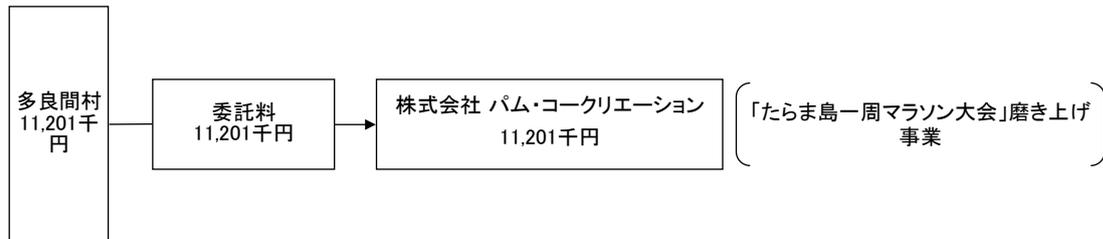
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-②	「たらま島一周マラソン大会」磨き上げ事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	観光振興課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	多良間村への観光誘客を図るため、既存の観光コンテンツとなる「たらま島一周マラソン大会」のイベント実施内容の磨き上げを行う。島民の事業への参加も促し、島民全体で創り上げる事で、一過性ではなく持続的な誘客が可能なイベントへ磨き上げる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)						10,905
							10,905
							0
							10,905
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)						9,526
							7,621
							87.4%
	予算の状況の説明		当初は通常のマラソン大会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施出来なかった事業内容があり、使用しない金額が発生したため減額に至った。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	①ヤギに出会える演出など多良間ならではのブランディング確立 ②大会期間中に使用可能な「地域通貨」を発行。地域全体の波及効果創出 ③アフターパーティーにて「島民による手作りマルシェ」を実施。特産品や島民の手作り料理販売 ④コロナ対策イベントマニュアル作成	目標	()	()	()	()	
		実績				大会中止	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、通常の一周年マラソン大会は中止となったが、変更してオンラインマラソン大会を開催した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	一周マラソン大会 島外参加者:200名	目標	()	()	()	島外参加者 200名	()
		実績				大会中止	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、通常大会は中止となった。代替措置として、たらま島一周マラソンオンライン大会を実施し、たらま島一周マラソン大会を知らない新規層に対し、認知度と渡航意欲の向上を図った。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・コロナ渦での大会開催が中止となり通常開催で予定していたヤギに出会える演出など多良間ならではのブランディング確立・大会期間中に使用可能な「地域通貨」を発行、地域全体の波及効果創出・アフターパーティーにて「島民による手作りマルシェ」、特産品や島民の手作り料理販売等の実施が次回大会への課題となった。</p> <p>・オンライン大会を実施したことで、次年度の現地大会実施のPRIに繋げることができた。</p>	<p>専用webサイトを制作し大会の魅力を十分に伝える余地がある。今後コロナ渦での大会開催となる場合に備え、感染症対策ガイドラインを策定する必要がある。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>今後も「たらま島一周マラソン大会」を起点に観光誘客を図る。webサイトでの効果的な情報発信などで大会の魅力をつたえる。また、コロナ対策イベントマニュアルを活用し島内イベント運営に活かす。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
11,201	9,526	7,261	1,905	1,675



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は企画競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○不用額なく、適正な予算規模と考えられる。</p> <p>○費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		多良間村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	多良間村の自然を活かした観光コンテンツ開発事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-㊦	
担当部課名	観光振興課	事業実施(予定)年度	令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	一人当たりの村民所得が県内でも低位にある多良間村において、滞在型観光を推進し、誘客促進及び島内消費額の増加を図るため、地理的特性や地域資源を生かした、体験型観光コンテンツを開発する						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
						13,648	
						11,278	
						▲ 2,370	
						0	
	B. 執行済額						11,278
	うち交付金充当額						9,022
	次年度繰越額						0
	執行率(%) (B/A)						100.0%
	予算の状況の説明		当初の計画通りで、想定内の予算執行であった。 2. 370千円の減額は、業務委託変更契約による額。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	コンテンツ開発 2つ	目標	(0)	(0)	(0)	(開発 2つ)	
		実績	0	0	0	開発 2つ	
	ガイド育成 3名	目標	(0)	(0)	(0)	(育成3名)	
実績		0	0	0	育成 12名		
達成状況説明	「文化経済の循環」をキーワードに、現地にてキャンプ用品一式のレンタルを行う「手ぶらCamp」、文化的料理「ジャンキムヌ」の体験、アウトドアギアを活用し島の自然を体験する「島版BBQ」を開発。環境に対する責任をもち、環境倫理プログラムの基礎を理解する3日間の「トレーナーコース」を開催。12名のトレーナー(ガイド)が認定された。開発中コンテンツを体験していただくこと、ニーズに合わせたコンテンツにすることを目的に「ジャンキムヌ体験」「島版BBQ体験」「集落散策」を実施した。参加者は、5名(男性4名、女性1名)。						
成果目標(指標)及び進捗状況	コンテンツ開発 2つの完了	目標	()	()	()	コンテンツ(開発 2つ)の完了	
		実績				コンテンツ開発 2つの完了	
	ガイド育成 3名の完了	目標	()	()	()	ガイド育成 3名の完了	
		実績				ガイド育成 3名の完了	

【R4成果目標】 開発されたコンテンツ(商品)を活用しての観光来島者240名	目標	()	()	()	()	(240名)
	実績					-
進捗状況説明	<p>「手ぶらCamp」、「ジャンキムヌ体験」、「島版BBQ」の3メニューを開発。 自然を利用するすべての人が、環境に対する責任をもち、楽しく利用するための環境倫理プログラム「LNT(Leave No Trace)」の7原則の基礎を理解する3日間の「トレーナーコース」を開催。12名のトレーナーが認定された。 モニターを実施、5名(男性4名、女性1名)。</p>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドア体験をスポットの魅力と難点を整理し、改めて島の自然の価値を再確認することができたと同時に、「シャワーが温水ではない」「水道はあるが炊事の洗い物がしにくい」「ゴミや洗剤がそのまま流れてしまう」などのハード面の課題があり、観光客が安心・安全にアウトドアを楽しむためにこれらの課題解決に取り組んでいく必要がある。 ・モニターツアーを実施し、参加者の満足度も高いことから、島民と連携しコンテンツのブラッシュアップを図ると共に、新たなコンテンツ開発、webサイトでの情報発信など、来訪意欲のある方へ効果的な情報発信、提供を行っていく必要がある。 ・安心・安全にアクティビティを実施するための体制づくりを行うため、コンテンツ提供者が先進地から運営手法について学ぶ必要がある。 ・LNTトレーナーが定期的に学び続けられる研修会実施、島民、観光客に対して、環境へのインパクトを最小限に抑え、島の自然を守る、豊かな自然を維持するための行動を普及・啓発を行うことも必要不可欠である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・島独自の「トゥブリ」(多良間の言葉で「海へと続く小道」を意味する)を活用し、島の遊びと連動させたメニューを開発し自然と触れ合う体験を多く取り入れたコンテンツ開発を行う。 ・12名のLNTトレーナーが誕生したが、指導力においては継続的な学びの機会が必要であることから、定期的に学習の機会を送油つし、ピジターへのレクチャースキルをあげていく。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・島民と連携しコンテンツのブラッシュアップを図ると共に、新たなコンテンツ開発、webサイトでの情報発信など、来訪意欲のある方へ効果的な情報発信を実施。 ・安心・安全にアクティビティを実施するための体制づくりを行うための先進地視察。 ・LNTトレーナーが定期的に学び続けられる研修会実施 ・島民、観光客に対して、島の自然を守る、豊かな自然を維持するための行動を普及・啓発活動。

資金の流れ														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,278</td> <td>11,278</td> <td>9,022</td> <td>2,256</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	11,278	11,278	9,022	2,256	0	<pre> graph LR A[多良間村 11,278千円] --> B[委託料 11,278千円] B --> C["(一社)多良間村ふしやめふ観光協会 11,278千円"] subgraph D [] C end style D stroke-dasharray: 5 5 </pre>		
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
11,278	11,278	9,022	2,256	0										

資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・支出先の選定については、行政、観光事業者、住民との連携を円滑に進めることができる中間的な事業者は村内では唯一であるため、随意契約は妥当と考えている。 ・予算について、事業内容に見合った執行となっており、適正な予算規模と考える。 ・費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		多良間村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	優良繁殖雌牛導入支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部課名	産業経済課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産体制の整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	生産農家が経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。優良繁殖雌牛を導入する際に購入価格の1/2以内で最高40万円までを支援することにより、母牛の改良を推進する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,500	8,000	12,000	8,000	8,000
		(b) 予算現額	8,000	8,000	12,000	8,000	8,000
		(c) 増減額(b-a)	500	0	0	0	0
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	8,000	8,000	12,000	8,000	8,000
	B. 執行済額		6,653	7814	11939	7,929	7,904
	うち交付金充当額		5,322	6251	9551	6,342	6,323
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		83.2%	97.7%	99.5%	99.1%	98.8%
予算の状況の説明		今年度の導入は、20頭予定のうち20頭が導入されており、不用額の96千円は補助額上限の40万円に満たない個体があったものによる。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	優良繁殖雌牛の導入頭数:20頭		目標 (20頭)	(30頭)	(20頭)	(20頭)	
			実績 17頭	30頭	20頭	20頭	
			目標 ()	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	今年度の導入は、20頭予定の20頭が導入されており、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合115.3%		目標 ()	()	(121.6%)	(115.3%)	()
			実績		120.6%	113.3%	111.3%
	【参考指標】優良繁殖雌牛導入の支援完了頭数:20頭		目標 ()	(支援(30頭)の完了)	(支援(20頭)の完了)	(支援(20頭)の完了)	()
			実績		支援(30頭)の完了	支援(20頭)の完了	支援(20頭)の完了
	進捗状況説明	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合は111.3%となり、目標を下回った。					

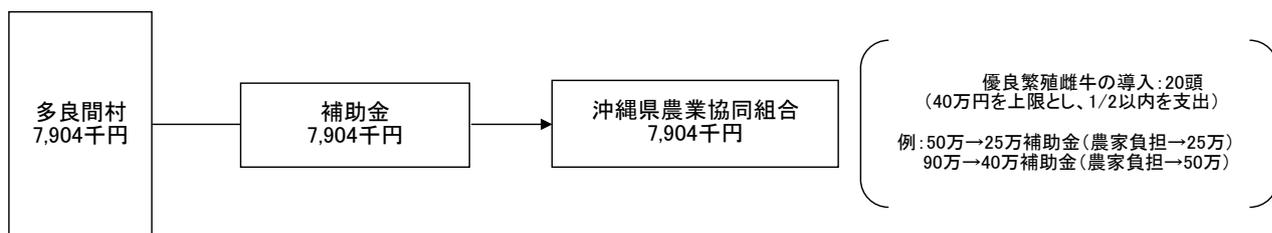
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルス感染症によるセリ価格への影響については回復傾向にあるが、キロ単価は低く、価格差への影響を及ぼしているものと考えられる。また、県内平均子牛価格を下回っている。	新型コロナウイルスの影響によるセリ価格の下落においても価格差は現れていることから生産農家への支援を継続していく必要がある。また、系統の情報共有等を行い、優良種の種付けを進めて行く必要がある。

今後の取り組み方針

和牛改良組合等の関係機関と連携し優良種雄牛の種付けの推奨等を行っていく。また、畜産農家高齢化が進んでいるが、本事業にて継続的に支援し続ける事で担い手や新規就農者の確保を図っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
26,990	7,904	6,323	1,581	19,086



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○農業協同組合は県内外での導入実績があり、妥当だと判断した
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○飼養頭数の3%で年間自家保留頭数の1/3程度なので規模は適正である
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○負担割合は1/2以内としており事業内容から判断しても妥当と考える
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については、補助金支出時に検査を実施しており事業目的に必要な支出と判断した

市町村名	多良間村
------	------

令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-①	児童生徒島外教育諸活動助成事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上
担当部課名	多良間村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所 Ⅲ-3-(1)

事業内容
児童生徒の意識の高揚、スポーツの技術力向上等、未来を招く子ども達の能力向上を図る。島外で実施される各種大会へ児童生徒派遣する。

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

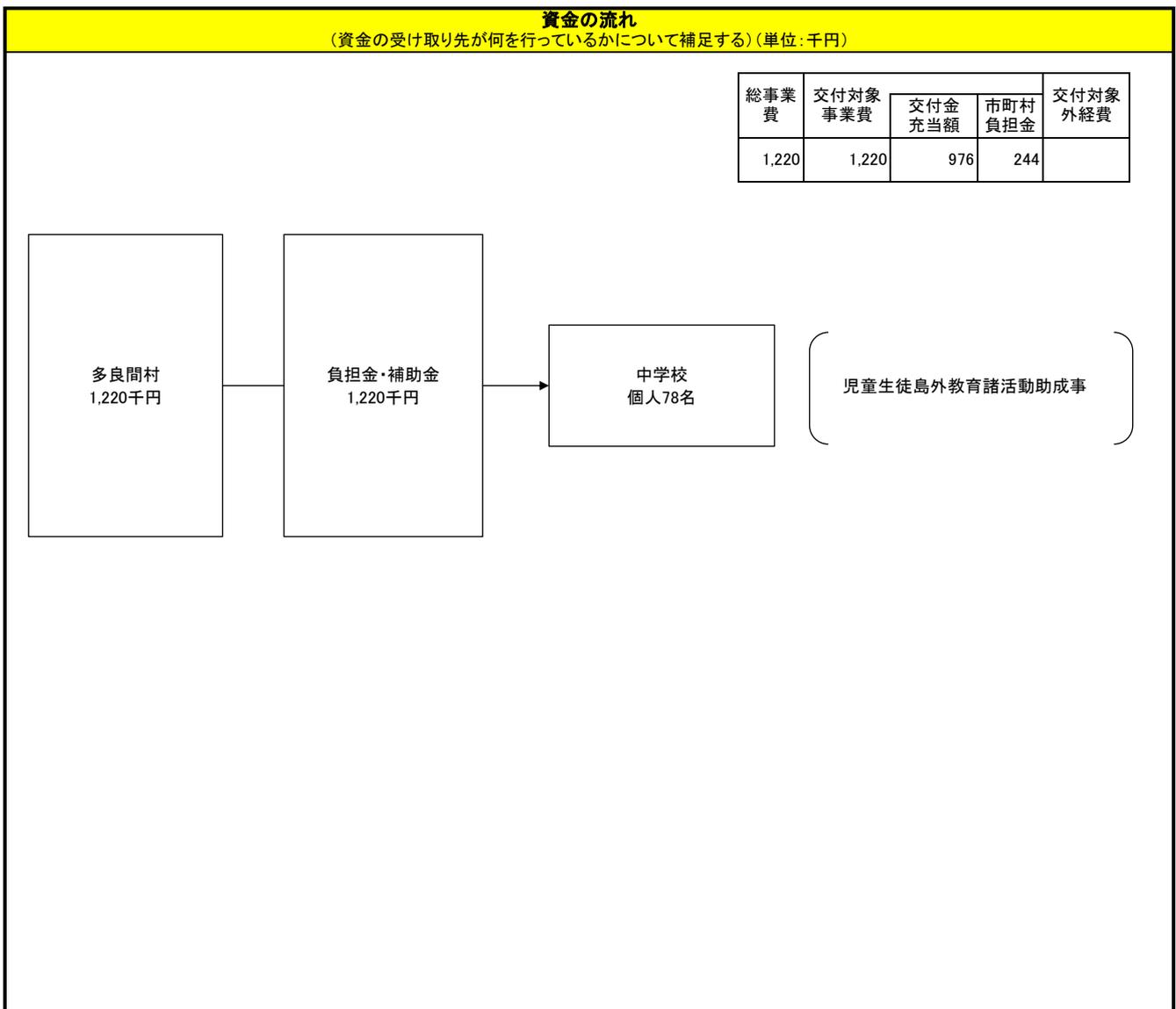
実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	4,725	3,071	5,455	3,632	3,435
	(b) 予算現額	4,725	5,603	3,857	1,805	1,592
	(c) 増減額(b-a)	0	2,532	▲ 1,598	▲ 1,827	▲ 1,843
	(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)	4,725	5,603	3,857	1,805	1,592
	B. 執行済額	3,522	5,571	3,773	953	1,220
	うち交付金充当額	2,817	4,457	3,018	762	976
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	74.5%	99.4%	97.8%	52.8%	76.6%
予算の状況の説明	当初予算で3,435千円を見込んでいたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、各大会の中止が相次ぎ、1,843千円減額したが、減額後も大会中止があり、371千円の不用額が発生した。					

活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		児童生徒の島外派遣に係る渡航支援	目標 (派遣実施)	(派遣実施)	(派遣実施)
	実績	派遣実施	派遣実施	派遣実施	派遣実施
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	大会11回、派遣延人数(教諭含む)78人を派遣。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりほとんどの大会が中止となったが、派遣を希望する大会へは交通費及び宿泊費の助成が実施できた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
		派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験することができたか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	97%	55%	83%	
			目標	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	今年度のアンケートは、小学校が大会中止となったため、中学校の生徒・教諭へのアンケートの実施のみとなった。アンケートの結果から意識の向上につながったとの回答が83%となり、成果目標を達成することができた。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、大会の中止・無観客大会・応援の制限等、十分な環境での大会に臨めなかったが、児童生徒の意識向上にはつながっている。</p> <p>一村一校の小規模校で少人数の環境にいる児童生徒にとっては、「大会」が視野を広げ意識向上を高める機会でもあり、能力を開花させる場所でもあり、精神鍛錬につながる場でもあるので、島外派遣教育は必要である。地区大会・県大会で競う選手との違いや課題を見つけ今後も各種大会に派遣し、児童生徒の意識向上を図るために継続支援が必要である。</p>	<p>児童生徒の大会への参加を支援していくためには、新型コロナウイルス感染症対策の強化を図りながら大会へ派遣する。</p> <p>県内の状況を踏まえ、文化的な大会等は学校と主催者側が連携を図りながらできるかぎりオンライン参加にしていく。</p> <p>地区大会・県大会を通して、競う選手との違いや課題を見つけることで意識向上につなげていく。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>新型コロナウイルス感染症対策の観点から、今後の大会等も対策予防をしながらの参加となり得る可能性も大きい。多良間村でも、新型コロナウイルスの発症者が出たため、引き続き、大会派遣後のPCR検査の実施をしていく。また、大会派遣による交通費・宿泊費等の支援していく。</p>		



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・小体連、中体連、引率者の派遣事業等に限定しているため、支出先の選定方法は妥当である。</p> <p>・予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な規模であった。</p> <p>・受益負担として、補助金上限額を超える分は負担してもらっている。</p> <p>・費目・使途については、精算段階で、検査実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		多良間村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②		学力向上推進ALT活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
	多良間村教育委員会 教育課		事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	
担当部署名						Ⅲ-3-(1)	
事業内容	国際化社会に対応できる児童生徒の学力向上を図るため、ALTを招聘し国際感覚を養いながら児童生徒の英語力の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		788	788	788	788	788
			788	788	788	788	788
			0	0	0	0	0
			788	788	788	788	788
		B. 執行済額	787	787	744	768	721
		うち交付金充当額	629	629	595	614	577
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	99.9%	99.9%	94.4%	97.5%	91.5%
		予算の状況の説明	当初の計画通りで、想定内の予算執行であった。				
活動目標(指標)及び達成状況		達成状況					
		R3活動目標(指標)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	ALT(外国語指導助手)招聘年間20回	目標	(20回の招聘)	(20回の招聘)	(20回の招聘)	(20回の招聘)	
		実績	20回の招聘	20回の招聘	20回の招聘	20回の招聘	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
	達成状況説明	外国語指導助手(ALT)を年間20回招聘し活用することにより、外国語活動や英語の時間を通して英語に対する興味・関心を喚起するとともに、異文化に対する理解を深め、国際社会に対応できる国際感覚を養いながら児童生徒の学力向上に繋げることができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況		R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	①小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		83%	86%	82%	
	②中学校 英検4級の保有割合:35%以上	目標	()	(50%)	(50%)	(35%)	()
		実績		33%	41%	47%	
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・小学5・6年生を対象にアンケート調査を行った結果、82%が「英語に対する興味・関心が高まった」と回答し、目標を達成した。 ・中学校生徒の英検4級の保有割合が47%となり、目標を達成した。 					

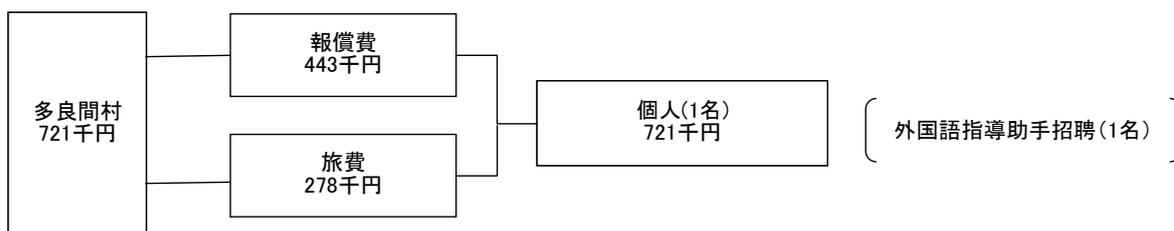
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 英語に対する興味・関心は高まっているが、コミュニケーション能力においては格差がみられる。 昨年度に比べて減ってはいるが、外国語活動や英語の授業において難しいと感じる児童生徒が未だにあり、英語力に二極化がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 未だ、学校教育において外国人とのコミュニケーションや触れ合いが乏しいため、学校生活の様々な場面における外国語指導助手(ALT)との交流の機会を増やすことで、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、聞くこと・話すことを中心とした外国語の基礎・基本を身に付けさせ、格差解消を図る。 英語力の二極化の解消を図るため、小学校及び中学校の英語の授業以外でも行われている「グループ学習」・「ペア学習」を取り入れ、習熟度別の授業カリキュラムを実践することで、小学校では、英語の音声と文字との関係を学ぶ指導を充実させ、中学校では、新たに文字を扱うことによる「文字への抵抗感」をなくすような授業づくりを推し進める。

今後の取り組み方針

- 外国語指導助手(ALT)を有効活用することで、国際社会に対応できる国際感覚を養いながら児童生徒の学力の向上を図る。
- これまでの事業内容を振り返り、授業内容の工夫・改善に力を入れるとともに、外国語指導助手(ALT)の学校現場でのより効果的な活用について検討を進め、外国語指導助手(ALT)の資質向上を図る。
- 習熟度別の授業カリキュラムを推し進めることで、「グループ学習」・「ペア学習」を通して、児童生徒に『分かる、できる喜び』を体感してもらうとともに、資質能力の育成を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
721	721	577	144	0



資金の流 点検、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○外国語指導助手(ALT)は、調査及び考慮の上選定しており、妥当であると考え。 ○不用額はなく、適正な規模と考える。 ○費目・使途は予定通りで、目的に即した適正なものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	多良間村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	村営学習塾開設事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	多良間村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成28~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	学力向上、高校受験対策の一環として児童生徒の学習をきめ細かに支援するため、村営の学習塾を開設する。その中で、学習支援員を配置することにより、多良間村に在学する小学3年生から中学3年生を対象に国語・算数(数学)・英語を中心とした学校外学習支援を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	15,012	15,100	15,100	15,100	15,100
		(b) 予算現額	15,012	15,100	14,879	12,526	14,795
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 221	▲ 2,574	▲ 305
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	15,012	15,100	14,879	12,526	14,795
	B. 執行済額		15,012	15,012	14,879	9,261	7,792
	うち交付金充当額		12,009	12,009	11,902	7,409	6,233
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.4%	100.0%	73.9%	52.7%
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染拡大の影響で8月中旬より講師1名が来島出来ない状態となり、常駐の講師1名とオンライン授業で対応した。そのため、来島出来ない講師1名分の渡航費及び宿泊費等が不用となった。305千円減額したが、入札残等もあり執行率は52.7%となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	村営学習塾の開設		目標 (開 設)	(開 設)	(開 設)	(開 設)	
			実績	開 設	開 設	開 設	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明		臨機応変に対応できるように社会情勢に合わせた方法(オンライン)での支援も取り入れながら継続的に村営学習塾を開設して、効果的に学習できる環境を整えるとともに、学校外学習支援を強化すること、学びたいと希望を持つ児童生徒を受け入れることで児童生徒の学力向上と他地域との格差縮小に繋がった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差・小学校(国語・算数)-4.5ポイント以上・中学校(国語・数学・英語)-5.0ポイント以上		目標 ()	(小学校-8P以上 中学校-13P以上)	(小学校-5P以上 中学校-6P以上)	(小学校-4.5P以上 中学校-5.0P以上)	()
			実績	小学校-5.2P 中学校+5.7P	小学校-4.8P 中学校-2.2P	小学校-3.1P 中学校-5.4P	
	【参考指標】 高等学校入学者選抜学力検査合格者数		目標 ()	(受験生全員合格)	(受験生全員合格)	(受験生全員合格)	()
			実績	受験生全員合格	受験生全員合格	受験生全員合格	
進捗状況説明		沖縄県学力到達度調査における県と本村学習塾受講生との平均正答率の差については、小学校は、(目標:-4.5P以上 実績:-3.1P)で目標を達成した。 中学校は、(目標:-5.0P以上 実績:-5.4P)となり、-0.4P目標に届かなかった。					

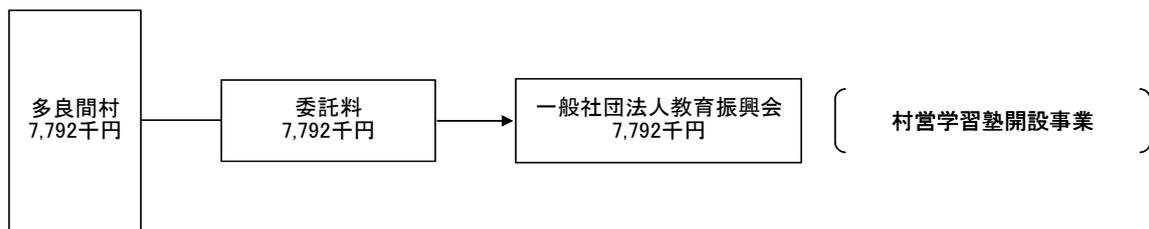
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動や学校行事等の関係で出席率が低くなる傾向があるため、出席率向上へ向けた改善策を学校側も含め検討する必要がある。 ・一斉授業だけでなく、個々の学力に応じた授業カリキュラムを推し進め、全体の底上げを図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・村営学習塾の開講日程を小学校及び中学校の年間計画に入れてもらうとともに、周知徹底を行うという学校側の配慮により、学校行事の時間調整や部活動の時間短縮の調整が図られ、出席率アップのための改善が図られている。 ・すべての児童生徒の個々の学習ニーズに可能な限り応えられる学習の場、環境を整備し提供することで、「確かな学力」の定着を図るとともに、基礎学力・基礎的基本的事項の修得(特に国語・算数・数学・英語)定着・向上に繋げるため習熟度別のクラス編制を行い、個々のレベルに合わせた教科書学習やプリント学習を実践することで、学力向上推進を図る。

今後の取り組み方針

・村営学習塾の出席率向上に向けての改善策の検討・実践、学校側との情報の共有及び協働体制の構築を図る。
 ・塾での習熟度別クラス編成の実践・充実と、個々の学力に応じた授業カリキュラムの推進を図ることで、学校外教育の場での学習支援を通して、高等学校入学者選抜学力検査全員合格、沖縄県学力到達度調査における県と本村学習塾受講生との平均正答率の差の格差縮小を図る。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
7,792	7,792	6,233	1,559	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○新型コロナウイルス感染拡大の影響で不用額が多く、執行率も低くなってしまったが、予算規模は適正な規模と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○教材費は受益者に負担してもらっており妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○支払いの度に検査を行い、目的に即し、必要なものだと判断する。

市町村名	多良間村
------	------

令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-④	多良間村就業意識向上支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-エ
担当部課名	多良間村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				公平な教育機会の確保等
				Ⅲ-3-(1)

事業内容
 小学6年生を対象に、沖縄本島(那覇市)を中心に企業を訪問して「ジョブシャドウイング(観察型キャリア教育)」を実施する。
 中学1年生を対象に、多良間村、宮古島市を中心に「中学生多良間村課題解決プログラム」を実施する。
 中学2年生を対象に、沖縄本島(那覇市)を中心に企業を訪問して「職場体験(体験型キャリア教育)」を実施する。

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額		7,075	7,500	8,500	9,500
	(b) 予算現額		7,075	7,336	8,500	9,500
	(c) 増減額(b-a)		0	▲ 164	0	0
	(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		7,075	7,336	8,500	9,500
	B. 執行済額		7,020	7,335	8,168	8,935
	うち交付金充当額		5,616	5,868	6,534	7,148
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)		99.2%	100.0%	96.1%	94.1%
予算の状況の説明	新型コロナウイルスの影響で一部オンライン方式での対応となったが、想定内の予算執行であった。なお、565千円の不用額は入札残である。					

活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
沖縄本島へ小学6年生(14名)、引率者(5名)	目標	(小学6年生(10名))	(小学6年生(10名))	(小学6年生(15名))	(小学6年生(14名))
	実績	小学6年生(10名)	小学6年生(10名)	小学6年生(15名)オンラインで各企業を訪問・視察	小学6年生(14名)オンラインで各企業を訪問・視察
宮古島市へ中学1年生(15名)、引率者(5名)	目標	(中学1年生(12名))	(中学1年生(10名))	(中学1年生(10名))	(中学1年生(15名))
	実績	中学1年生(12名)	中学1年生(10名)	中学1年生(10名)	中学1年生(15名)
沖縄本島へ中学2年生(8名)、引率者(5名)	目標	(中学2年生(12名))	(中学2年生(14名))	(中学2年生(8名))	(中学2年生(8名))
	実績	中学2年生(12名)	中学2年生(14名)	中学2年生(8名)	中学2年生(8名)
達成状況説明	・小学6年生(14名)、引率者(5名)については新型コロナウイルス感染拡大の影響で沖縄本島で行う予定のジョブシャドウイングが実施できなかったため、オンラインで各企業を訪問・視察の上、就業意識の向上に資する支援を実施し、活動目標を達成した。 ・宮古島市へ中学1年生(15名)、引率者(5名)、沖縄本島へ中学2年生(8名)、引率者(5名)を派遣のうえ、就業意識の向上に資する支援を実施し、活動目標を達成した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
		目標	()	(80%)	(80%)	(80%)
	実績		79%	84%	83%	
	目標	()	()	()	()	()
進捗状況説明	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートの結果、働くことへの興味・関心が湧いた児童生徒は、83%(小学校82%、中学校84%)となり、目標を達成した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・村内では、企業や職種が少なく、それにより興味・関心及び働くことへの意識が希薄であるということが挙げられるため、多くの職業があることを知る、職業の拡がりを知るといった「就業意識の芽生えを育む」取組の充実を図る必要がある。 ・地域に対する興味・関心が薄く、多良間村の現状と課題もわからない児童生徒がいるという現実があるため、その課題解決に向け、他者との対話を通して自身の考えを深め、広げる力をさらに向上させるため「学び・育ちの実感」の醸成を図る必要がある。 ・自分の将来像を明確に設計せず、島を旅立つ(15の旅立ち)生徒がいるという現状がまだにあるため、「自己肯定感、自己有用感を実感させる取組」「社会や生活との繋がりを意識する取組」における継続的支援体制を整え、「15の旅立ち」に向けた資質・能力の育成を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「就業意識の芽生えを育む」面での課題に対する改善策として、小学6年生が実施する「ジョブシャドウイング」においては、在籍児童数にあわせた企業開拓を行い、企業への訪問体制を充実させることで、数多くの職種に興味・関心を持たせ、これまで以上に働くことへの意識付けを図る。 ・「学び・育ちの実感」面での課題に対する改善策として、中学1年生が実施する「中学生多良間村課題解決プログラム」においては、まず、島内での企業訪問を行った上で、島外(宮古島市)での企業訪問を実施することで、地域への愛着と誇りを持ってもらい、多良間村の現状と課題を知る中で、中学生なりに分析することにより、地域について興味・関心を深めてもらうためのキャリア教育の充実を図る。 ・「自己肯定感、自己有用感を実感させる取組」「社会や生活との繋がりを意識する取組」面での課題に対する改善策として、中学2年生が実施する「職場体験」においては、まず、島内での職場体験を行った上で、沖縄本島(那覇市)を中心とした企業での職場体験を実施することで、村内にない業種や職種にふれ、村内の業種や職種との違いや共通項に気づき、村内外の産業や職業への理解を深めてもらい、将来の夢、生き方、進路等の選択に生かしてもらうための機会を増やし、さらなる就業意識の向上を図る。

今後の取り組み方針

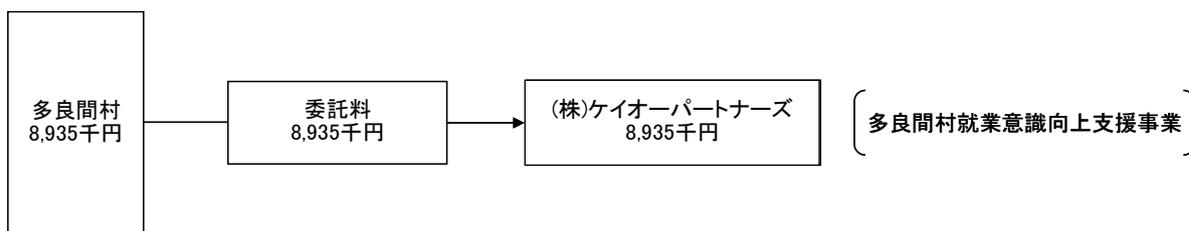
・児童生徒の就業意識の向上のため、産・学・官が一体となった協働体制の構築に努め、多良間村の現状と課題を把握するためにキャリア教育の実践・充実を推進し、地域に還元できる児童生徒の育成のため、人材の還流を図る。

・島外で様々な企業、職種があることを理解し、職業観及び勤労観の喜びを深めるために、幅広く取り組む必要があり、「ジョブシャドウイング(観察型キャリア教育)」、「中学生多良間村課題解決プログラム」、「職場体験(体験型キャリア教育)」を通して、社会人としての規律・礼儀・言葉づかいの大切さを知る機会、児童生徒に将来の生き方について考えさせ、進路の選択に生かせる機会とし、情操教育に繋げ、将来を担う児童生徒の育成に努める。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
8,935	8,935	7,148	1,787	0



資金の 用途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。 ○不用額がほとんどなく、予算規模は適正な規模と考える。 ○支払いの度に検査を行い、目的に即し、必要なものだと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 多良間村

令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名: 3-⑥ 多良間村自然文化継承事業
沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所: 第3章-1-(4)-ア
沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
担当部課名: 多良間村教育委員会 教育課
事業実施(予定)年度: 平成30~令和3年度
沖縄振興基本方針該当箇所: Ⅲ-3-(2)

事業内容: 多良間村の自然文化継承の保存のため、郷土資料の整理活用業務、自然図鑑の制作、方言副読本を制作する。

効果発現年度: 当年度 () 後年度(年度)

実施方法: () 直接実施 () 委託 () 補助 () 負担 () その他()

Table with columns: 予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース), H30年度, R1年度, R2年度, R3年度, R4年度. Rows include: (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額(b-a), (d)繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%) (B/A).

予算の状況の説明: 当初の計画通りで、想定内の予算執行状況であった。なお、246千円の減額は入札残である。

Table for Activity Objectives (活動目標) and Achievement Status (達成状況). Columns: R3 Activity Objective (指標), H30年度, R1年度, R2年度, R3年度. Rows: 郷土資等の修復、公開及びシンポジウム開催, 自然図鑑の制作発行. Includes a '達成状況説明' (Achievement Status Explanation) section.

達成状況説明: 郷土資等の修復、公開及びシンポジウム開催、現代語訳本・解説版の出版、歴史や文化財を地図と組み合わせたコンテンツ(電子的な情報)をスマホ等で閲覧できるアーカイブツールズを構築し目標を達成した。

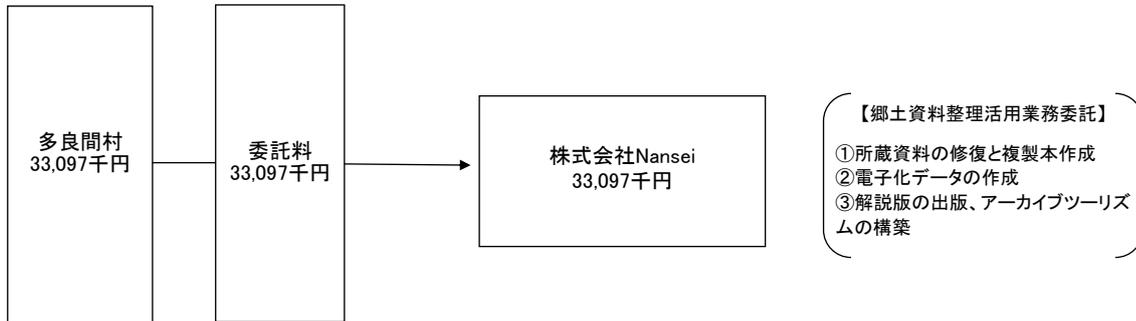
Table for Results Objectives (成果目標) and Progress Status (進捗状況). Columns: R3 Results Objective (指標), H30年度, R1年度, R2年度, R3年度. Rows: ①ふるさと民俗学習館の村民利用者数 178人以上, ②ふるさと民俗学習館の観光客利用者数 622人以上, ③シンポジウム来場者数 50人以上.

進捗状況説明: 新型コロナウイルス感染症の影響による、村民へのステイホーム要請、観光客等の来島自粛要請等があり、ふるさと民俗学習館利用者は目標達成に至らなかった。シンポジウム来場者は、人数制限をしておいたが、目標を達成することができた。

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響による、村民へのステイホーム要請、観光客等の来島自粛要請等があり、入館者が減少し、企画展を開催するも目標の利用者が望めなかった。 新たな資料の発見や現代語訳が予定に反して時間を要した。 	<ul style="list-style-type: none"> 修復、電子化された所蔵資料の活用を検討し、展示方法や広報を工夫し利用者の促進を図る。 翻刻や現代語訳に係る期間の再検討をする。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 所蔵資料の完成した現代語訳・解説版や図録を活用し、企画展示やシンポジウムの開催、WEB公開を行い多良間の歴史文化に興味を持った方々が多く訪れる観光スポット、地元の歴史を知る学習資料として活用する。 アーカイブツールの内容充実を図るため、掲載内容の検討を行い、古写真や観光関連施設の挿入も行う。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
33,097	33,097	26,477	6,620	



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 多良間村

令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-①	多良間村自動車航送負担コスト軽減事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア
担当部課名	総務財政課	事業実施(予定)年度 平成27~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減 Ⅲ-9

事業内容 離島住民の利便性を確保するため、高額である多良間島⇄宮古島間のフェリー自動車航送に係る運賃補助を実施する。

効果発現年度 当年度 後年度()年度

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	1,574	1,574	1,574	1,715	1,157
	(b) 予算現額	1,169	1,178	1,112	1,715	1,157
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 405	▲ 396	▲ 462	0	0
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計 (b+d)	1,169	1,178	1,112	1,715	1,157
	B. 執行済額	952	965	916	1,144	1,157
	うち交付金充当額	761	772	733	915	926
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)	81.4%	81.9%	82.4%	66.7%	100.0%
予算の状況の説明		実績と伸び率を踏まえて当初予算を計上したが、当初の計画以上の利用があったことから、136千円不足村費で対応した。				

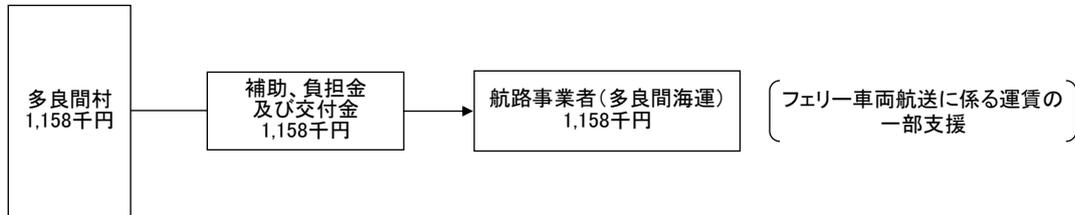
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		宮古島⇄多良間島間の自動車航送運賃の補助	目標 (軽減)	(軽減)	(補助)	(補助)
	実績	軽減	軽減	補助	補助	
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	年間を通じて運賃補助を実施し、住民の宮古島⇄多良間島間の自動車航送コスト負担を軽減できた。自動車航走に係る運賃補助の実施台数は前年度82台、今年度は91台であった。					

成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
		運賃補助によって宮古島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	88.30%	96.55%	98.66%	
			目標	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	利用者へのアンケートの結果、98.66%の島民が宮古島市へ移動しやすい環境の構築が図られたと回答し、成果目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	前年度に比べて利用台数は82台から91台に増加しており、新規利用者も1人から15名に増加している。利用者が増加している一方で、アンケートへの回答のお願いや収集に時間を要している。	住民全体へ、本事業の利便性の周知を図りながら、問題点、改善点を効率よく把握するため、利用者が回答しやすいアンケート方法やツールの検討が必要である。
今後の取り組み方針		
自治会の掲示板への掲示以外に、村の広報誌や島民が多く集まる商店等に掲示をお願いし、引き続き本事業の利便性の周知を図る。また、アンケートについて、年齢等を考慮し回答しやすい方法の構築を図る。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,157	1,157	926	231	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、航路事業者が1事業者しかいないため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○実績の状況に応じ年度内で事業費の増減を行うなど、事業内容に見合った予算規模となっている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○利用者も一定の負担をしており、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については実績報告時において支出等に関する書類により確認適正であった。

市町村名	多良間村
------	------

令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-①	多良間村心身障害児等渡航費助成事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上
担当部課名	住民福祉課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所 Ⅲ-3-(1)

事業内容
本村に居住する心身障害児等が当該治療・療育支援等のために島外の医療機関等に受診する際の航空運賃及び宿泊費を助成する。

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額				880
		(b) 予算現額				880
		(c) 増減額 (b-a)				0
		(d) 繰越額				0
		A. 計 (b+d)				880
		B. 執行済額				311
		うち交付金充当額				249
		次年度繰越額				0
		執行率 (%) (B/A)				35.3%
		予算の状況の説明	コロナ感染拡大防止に伴い、手術や診察が中止や延期になり執行率が低下した。			

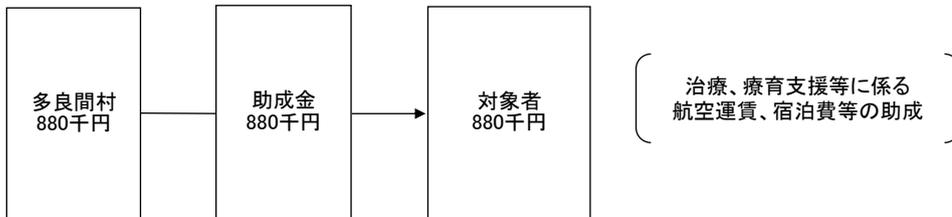
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		対象者の申請に対し助成金を交付する	目標	()	()	()
		実績				実施
		目標	()	()	()	()
		実績				
達成状況説明	本村では対応できない心身障害児及び療育児等が、島外専門医療機関に通院する際の旅費又は宿泊費を助成した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
		渡航費支援が必要な児童への支援率 100%	目標	()	()	()	(100%)	()
			実績				100.0%	
			目標	()	()	()	()	()
		実績						
進捗状況説明	新型コロナウイルス感染拡大のため手術や診察が延期となり、支援対象者の渡航自体が当初想定より大場に減少したが、渡航した対象者については支援した。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	コロナ感染拡大防止に伴い、手術や診察が中止や延期になり支援数は当初想定を下回ったが、目標については達成できた。	目標については達成しているが、支援の実積数を上げるため、コロナの感染状況を注視しつつ、通院先の病院と情報共有して渡航を支援していく必要がある。
今後の取り組み方針		
今後も、心身障害児等に対し渡航、宿泊に関する経済的負担の軽減のため支援を継続していく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
311	311	249	62	



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は要綱等にもとづき交付決定しており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○執行率が低い、コロナの影響などもあり、受診頻度が予測できないため予算規模は適正だと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者は実費の1割を負担しており、また助成額には単年度で上限額を設けており妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、実績報告時において支出等に関する書類により確認しており適正であった。